

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-516904 (P2005-516904A)

【公表日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報 2005-022

【出願番号】特願 2003-546899 (P2003-546899)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/567 (2006.01)

A 6 1 P 15/18 (2006.01)

C 0 7 J 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/567

A 6 1 P 15/18

C 0 7 J 1/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 6 日 (2005.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レボノルゲストレルを有効成分として含む、緊急避妊用の薬学的組成物であって、毎回の用量中、通常、薬学的に慣用されている製剤化促進若しくは製剤供給のための添加物の他、既知の賦形剤、希釈剤、香料添加物、着香料および安定化剤との混合物の中にレボノルゲストレル $1.5 \pm 0.2\text{mg}$ のみを有効成分として含むことを特徴とする組成物。

【請求項 2】

レボノルゲストレルを有効成分として含む、緊急避妊用の薬学的組成物であって、性交後 72 時間までにレボノルゲストレル $1.5 \pm 0.2\text{mg}$ を有効成分として含む単回適用量を投与するための組成物。

【請求項 3】

毎回の用量中、通常、薬学的に慣用されている製剤化促進若しくは製剤供給のための添加物の他、既知の賦形剤、希釈剤、香料添加物、着香料および安定化剤との混合物の中にレボノルゲストレル $1.5 \pm 0.2\text{mg}$ のみを有効成分として含むことを特徴とする、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

単回適用量の薬学的組成物を製造するためのレボノルゲストレルの使用であって、毎回の用量中、通常、薬学的に慣用されている製剤化促進若しくは製剤供給のための添加物の他、既知の賦形剤、希釈剤、香料添加物、着香料および安定化剤との混合物の中にレボノルゲストレル $1.5 \pm 0.2\text{mg}$ のみを有効成分として含むことを特徴とする組成物製造のための使用。

【請求項 5】

単回適用量の薬学的組成物を製造するための方法であって、毎回の用量中、通常、薬学的に慣用されている製剤化促進若しくは製剤供給のための添加物の他、既知の賦形剤、希釈剤、香料添加物、着香料および安定化剤との混合物の中にレボノルゲストレル $1.5 \pm 0.2\text{mg}$ のみを有効成分として含むことを特徴とする組成物の製造方法。